

国会前に植えたサクランボ

「赤い実つけさせたい」

寒河江の 春に上京して世話 野郎さん

「これは国会で、サクランボが、一頭の木、さくらんぼ」を去年十一月、国会議事堂の裏、議院内に植えた寒河江市議員、農業試験場一さん云々は、寒河江に比べ東京は寒く、土壌なり条件は厳しいが、ぜひ赤い実をつけさせてやりたい、と春以降数回出陣して、受粉や防除作業を行ってきた。

国会議事堂の裏、議院内庭に、各州の木が、これに準ずる花木を植えたのは去る四月、国会開設を記念したもので、本州は米沢市のシラハタの桜を贈呈した。しかし、去年「まゝんぼ」



が親の木として正式に植栽され、一頭木だ。それを機会に、サクランボに植え「この時、成木四本を贈呈したので

が野郎さん。自ら育てた八年生もの「在来種」「二木」「高砂」「ジャポレー」各一本を、トラップで捕ひ、寒河江の十五町を加工して無菌的に「在来種」と「ジャポレー」、無菌的に「在来種」「高砂」をそれぞれ植栽した。せ

んていや思ふなど、農業講習所長の補助者にメネを添えてきたものの、気候や土壌条件が全く違つたため、果たしてうまく実がなるかどうかは気懸かり。そこで、最も重

要な交配の時期や防除の時期に、二、三回、国会まで出陣し、世話するつもりだ。

野郎さんは寒河江農業試験場の出身。その後、園圃の果樹試験場の研究所で一年半ほど勉強、青里に帰り、サクランボ(九十)と水田(八才)畑(二才)を手付け

ている。県内初めてサクランボの栽培を始めたことも知られており、その、栽培、が盛況まれ、東京・新習志野農校にサクランボを植えたり(五千四百から三年間)、豊田に植えつけた(五千

六年)。原因はサクランボは昨年約百個の実がなつたという。

野郎さんは「東京で実を付けさせたい、というのが私の夢だ。辛い昨年、引退を申し付け、自願ができた。国会前は帰国は条件に取られていないが、植えた限りは責任がある。せめてここだけで、も何とかならなさい」と語り切っている。

農政事務所の方があつたが、自費で建設して植栽したことから、四十八年に建設費補正予算に着手した。開路は幅が十六尺、このうち車道部分九尺、四例に三・五尺の歩道がついている。操縦者約千人のりと去年の高し合いが済んだことから、家賃移転、道路整備が急ピッチで進められてきた。一部供用を開始している。交遊中の操縦者入のりも、一人について去年十月に正式開印したことから、金線開通のメドがつき、県は来年のお祭りまで

来年夏にも開通

着工10年 用地交渉まとまる

の 市 日 田
河 橋 一
寒 栗

完成が待たれて いる寒河江市の都 市計画道路「寒河 栗」が、来年夏には全線開通する見通しとなった。交 渉中だった操縦者入のりも、一 人との開印が終わり、着工以来十 年ぶりに交通網が解消する。

「日田線」が、来年夏には全線開通する見通しとなった。交 渉中だった操縦者入のりも、一 人との開印が終わり、着工以来十 年ぶりに交通網が解消する。

寒河江市 大江線は、国道沿 道の連絡道路として交通量が多 い。五千五百の調査(土 橋線) では、六千八百千四百、大型ト ラックの往来も多い。このが、



建設費約千人のりと去年の高し合いが済んだことから、家賃移転、道路整備が急ピッチで進められてきた。一部供用を開始している。交遊中の操縦者入のりも、一人について去年十月に正式開印したことから、金線開通のメドがつき、県は来年のお祭りまで